

(1) - 2. 令和3年度事業内容

①総会

【令和3年度総会】

日時：令和3年7月17日（土）09：30～11：30

場所：和泉市コミュニティセンター 1階 大集会室

議題：1. 報告事項

- 1) 令和2年度事業報告
 - 2) 信太5号線及び公園の整備スケジュールについて
 - 3) 信太山丘陵里山自然公園の実施設計について
2. 令和3年度事業計画

②企画運営会議

令和3年度企画運営会議一覧

回	日時/場所	内容
第1回	令和3年10月12日（火） 09:30～11:30 和泉市コミュニティセンター1F 中集会室	1. 開 会 2. 議 事 （1）報告事項 ○活動概要報告 ○個別活動報告 ① 環境保全活動 ② 保全活動ミーティング ③ 事業計画ミーティング ④ 信太山里山講座 ⑤ 緑の観察会 ⑥ 湿地保全調査（PPで説明） ⑦公園周辺の整備計画など ・信太5号線整備スケジュール ・惣ヶ池遺跡の発掘調査について （2）協議事項 1) 公園実施設計について 3. 閉 会
第2回	第2回 令和4年3月22日（火） 09:30～11:30 和泉市コミュニティセンター1F 大集会室	1. 開 会 2. 議 事 （1）報告事項 令和2年12月～令和3年3月 ① 環境保全活動 ② 保全活動ミーティング ③ 事業計画ミーティング ④ 信太山里山講座 ⑤ 生きもの観察会 ⑥ 湿地保全調査（PPで説明） ⑦ 町会・小学校へのヒアリング ⑧ 信太5号線整備スケジュール （2）協議事項 1) 公園実施設計について 2) 第1期開園 3. 閉 会

③環境保全活動

令和3年度の環境保全活動は、年間計20回を実施し、延べ参加人数は393人、草刈面積は約9,000㎡であった。

毎年継続した草刈りを実施してきており、カナビキソウやアリノトウグサといった新たな野草の出現が確認された。11月には、西側草原にクズの根に枯殺剤（ケイピン）の試験的な打込みを実施しており、令和4年度の夏にその効果が期待できる。

令和3年度7月22日から西側エリアの散策路を自由に歩けるようにするため、散策路と保全している草原との境界部への仮設ロープ柵の設置、竹を使ったサイン看板の製作及び設置を行った。



カナビキソウ



アリノトウグサ



枯殺剤（ケイピン）を打ったクズの根



草原の草刈り



散策路沿いの草刈り



保全活動で設置した仮設ロープ柵



保全活動で設置した竹の看板

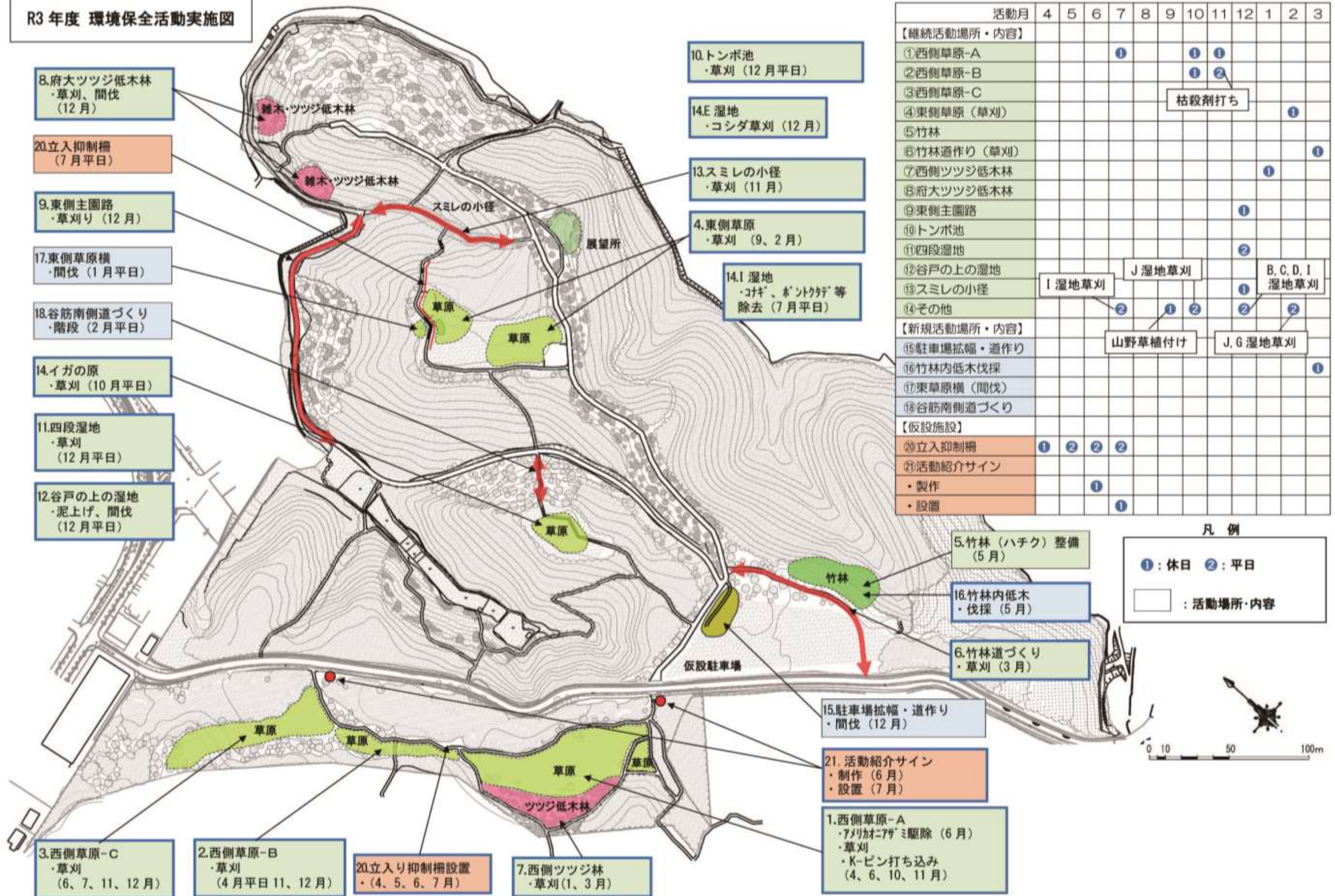
令和3年度環境保全活動一覧

実施日	活動名	参加人数	主な参加者	活動場所・活動内容
R3年 4月20日(火) 10:00~12:00	平日活動	12人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ 	東側：尾根筋等 ・尾根筋道などのネザサ等の草刈など
R3年 6月12日(土) 10:00~12:00	自主活動	7人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ ・大阪府立大学 	西側：散策路 ・仮設ロープ柵の設置
R3年 6月15日(火) 10:00~12:00	自主活動	16人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ ・大阪府立大学 	西側：散策路 ・仮設ロープ柵の設置
R3年 7月19日(月) 10:00~12:00	自主活動	10人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ 	西側：散策路 ・散策路の入口2箇所に設置するサインの製作 ・安全で快適に歩ける散策路づくり
R3年 7月20日(火) 10:00~17:00	平日活動	10人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ 	西側：散策路 ・散策路の入口2箇所に設置するサインの製作 ・安全で快適に歩ける散策路づくり
R3年 7月22日(木・祝) 10:00~12:00	西エリア 散策路 お披露目	35人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ 	西側：散策路 ・散策や自然観察会 ・散策路の利用の方向性について意見交換
R3年 9月5日(日) 10:00~12:00	自主活動	10人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ 	東側：園路沿い ・ヒヨドリバナなどの山野草を東側エリアに植えつけ ・園路の草刈
R3年 9月21日(火) 10:00~12:00	自主活動	10人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ 	西側：草原 ・令和2年にネザサを刈取った草原で再度刈取りを実施
R3年 10月3日(日) 10:00~12:00	第60回 環境保全活動	25人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ 	西側：草原 ・令和2年にネザサを刈取った草原で再度刈取りを実施

実施日	活動名	参加人数	主な参加者	活動場所・活動内容
R3年 10月19日(火) 10:00~12:00	平日活動	8人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ 	西側：草原 <ul style="list-style-type: none"> ・ネザサ、セイタカアワダチソウ等の草刈など
R3年 11月7日(日) 10:00~12:00	第61回 環境保全活動	33人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ 	西側：草原 <ul style="list-style-type: none"> ・ネザサ、セイタカアワダチソウ等の草刈など ・山野草の種取り
R3年 11月16日(火) 10:00~12:00	平日活動	15人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ 	西側：草原 <ul style="list-style-type: none"> ・クズの根へ枯殺剤(ケイピン)の打込み
R3年 12月5日(日) 10:00~12:00	第62回 環境保全活動	40人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ ・近隣住民(鶴山台) 	東側：園路、スマレの小径 <ul style="list-style-type: none"> ・園路沿いの草刈
R3年 12月21日(火) 10:00~12:00	平日活動	10人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ ・泉大津高校生徒 	東側：A湿地、B湿地、C湿地、D湿地、I湿地 <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容：ネザサ等の草刈、湿地の泥上げなど
R4年 1月10日(月・祝) 10:00~12:00	第63回 環境保全活動	34人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ 	西側：ツツジ林 <ul style="list-style-type: none"> ・ネザサの草刈など
R4年 1月18日(火) 10:00~12:00	平日活動	12人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ 	西側：ツツジ林 <ul style="list-style-type: none"> ・ネザサの草刈など
R4年 2月6日(日) 10:00~12:00	第64回 環境保全活動	44人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ ・泉大津高校生徒 	東側：尾根筋草原 <ul style="list-style-type: none"> ・ネザサ等の草刈など
R4年 2月15日(火) 10:00~12:00	平日活動	15人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ 	東側：G湿地、J湿地、園路 <ul style="list-style-type: none"> ・ネザサ等の草刈など

実施日	活動名	参加人数	主な参加者	活動場所・活動内容
R4年 3月13日(日) 10:00~12:00	第65回 環境保全活動	37人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ ・泉大津高校生徒 	東側：竹林周辺 <ul style="list-style-type: none"> ・ネザサ等の草刈など
R4年 3月15日(火) 10:00~12:00	平日活動	10人	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員等 ・NPO信太の森FANクラブ ・NPOいずみの国の自然館クラブ 	東側：尾根筋から大野池に至る現道 <ul style="list-style-type: none"> ・ネザサ等の刈取り、アカマツの枯損木の伐採・除去

R3年度 環境保全活動実施図



活動月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
【継続活動場所・内容】												
①西側草原-A				①			①	①				
②西側草原-B							①	②				
③西側草原-C												
④東側草原(草刈)											①	
⑤竹林												①
⑥竹林道作り(草刈)												①
⑦西側ツツジ低木林										①		
⑧府大ツツジ低木林												
⑨東側主園路										①		
⑩トンボ池												
⑪四段湿地											②	
⑫谷戸の上の湿地												②
⑬スミレの小径										①		
⑭その他											②	②
【新規活動場所・内容】												
⑮駐車場拡幅・道作り												
⑯竹林内低木伐採												①
⑰東側草原横(間伐)												
⑱谷筋南側道づくり												
【仮設施設】												
⑳立入り抑制柵		①	②	②	②							
㉑活動紹介サイン												
・製作							①					
・設置											①	

凡例

①: 休日 ②: 平日

□: 活動場所・内容



④利用調整会議

④-1. 保全活動ミーティング

令和3年度の保全活動ミーティングは、年間計11回開催し、延べ参加人数は126人であった。保全活動の内容やスケジュール、暫定的な利活用、整備に伴う現況林の伐採等について検討した。



整備予定の駐車場位置等を現地で確認



残す樹木の確認



信太5号線から草原への見通しについて確認



生きもの横断管の出入口の現地検討

令和3年度保全活動ミーティング一覧

実施日	実施場所	参加人数	主な参加者等	検討内容
R3年 5月11日(火) 14:20~16:00	オンライン 開催	15人	・NPO信太の森 FANクラブ ・NPOいずみの国 の自然館クラブ	①企画運営会議後の取組み報告 と今後の活動展開について ②暫定利用の準備の進め方について
R3年 5月26日(水) 13:45~15:15	オンライン 開催	10人	・一般会員等 ・NPO信太の森 FANクラブ ・NPOいずみの国 の自然館クラブ ・ガールスカウト大阪 府第28団	①ふりかえりと今後の活動展開 について ②暫定利用の準備の進め方について
R3年 6月22日(火) 13:45~15:15	オンライン 開催	11人	・NPO信太の森 FANクラブ ・NPOいずみの国 の自然館クラブ ・ガールスカウト大阪 府第28団	①暫定利用の準備と進め方について ②その他準備、当日の運営など
R3年 8月21日(土) 10:00~12:00	信太山丘陵 里山自然公園	10人	・協議会会員	※公園実施設計業務の開始に合わせて臨時開催 ①東側エリアのトイレの位置の 検討 ②園路の一部ルートの変更 ③整備予定の信太5号線の位置 と現況林の位置の確認
R3年 9月13日(日) 12:45~14:45	和泉市役所 ・ オンライン 開催	10人	・協議会会員	①緊急事態宣言下での活動内容 やスケジュールの確認
R3年 10月3日(日) 12:45~14:45	信太山丘陵 里山自然公園	10人	・一般会員等 ・NPO信太の森 FANクラブ ・NPOいずみの国 の自然館クラブ	①草原エリアの草刈を年度内に 全て実施できるようスケジュー ールの見直し ②湿地の目標イメージの確認 ③オンライン里山講座の課題の 確認(実践研修)
R3年 11月7日(日) 12:45~14:45	信太山丘陵 里山自然公園	13人	・一般会員等 ・NPO信太の森 FANクラブ ・NPOいずみの国 の自然館クラブ	①保全活動計画 ②ヤギの放牧実験について
R3年 12月5日(日) 12:45~14:45	信太山丘陵 里山自然公園	13人	・一般会員等 ・NPO信太の森 FANクラブ ・NPOいずみの国 の自然館クラブ	①保全活動計画 ②東側仮設駐車スペースの拡大 のための現況 ③林伐採範囲について ④信太5号線沿いの現況林に整 備される主園路や駐車場の位 置確認
R4年 1月10日(月・祝) 12:45~14:45	信太山丘陵 里山自然公園	12人	・一般会員等 ・NPO信太の森 FANクラブ ・NPOいずみの国 の自然館クラブ	①保全活動計画

実施日	実施場所	参加人数	主な参加者等	検討内容
R4年 2月6日(日) 12:45~14:45	信太山丘陵 里山自然公園	11人	・一般会員等 ・NPO信太の森 FANクラブ ・NPOいずみの国 の自然館クラブ	①保全活動計画 ②信太5号線沿いの現況林の中 で公園整備時に残す樹木の確 認
R4年 3月13日(日) 12:45~14:45	信太山丘陵 里山自然公園	11人	・一般会員等 ・NPO信太の森 FANクラブ ・NPOいずみの国 の自然館クラブ	①令和4年度の保全活動計画 ②西側散策路における仮設サイ ン取り付け

④-2. 事業・計画ミーティング

令和3年度の事業・計画ミーティングは、年間計5回開催し、延べ参加人数は76人であった。主に活動拠点施設、公園実施設計について検討した。

令和3年度事業・計画ミーティング一覧

実施日	実施場所	参加人数	主な参加者等	検討内容
R3年 9月16日(火) 14:00~16:00	和泉市役所 ・ オンライン 開催	18人	・協議会会員	①活動拠点施設 ②トイレ棟
R3年 10月12日(火) 17:00~20:00	和泉市役所	9人	・協議会会員	①活動拠点施設の床の仕上げ ②活動拠点施設の休憩利用に関 する備品 ③活動拠点施設の運営 ④活動拠点施設施設の展示スペ ースの方向性 ⑤活動拠点施設のトイレの配 置、キッチンの位置
R3年 12月17日(金) 9:00~11:00	和泉市役所	16人	・協議会会員	①活動拠点施設周辺 ②東側谷筋主園路における雨水 排水計画 ③園路計画におけるルート設 定、階段・柵の設置位置等 ④東側エリア開園後、公開する 湿地(A湿地(四段湿地)およ びJ湿地)の施設
R4年 1月21日(金) 10:00~12:00	信太の森 ふるさと館	16人	・協議会会員	①建築の実実施設計について ②公園実施設計について
R4年 2月21日(月) 10:00~12:00	信太の森 ふるさと館	17人	・協議会会員	①建築の実実施設計について ②公園実施設計について ③公園管理運営体制の検討に向 けて ④その他(報告事項)

⑤信太山里山講座

令和3年度の信太山里山講座は、14名の受講者があった。前年度の倍の受講者数となった要因としては、動画講座の導入によって過去の講座の受講が可能になり、途中からの受講も受けられるようになったことや、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として年度をまたがった受講が可能になったことが考えられる。また、令和3年度の受講者のうち協議会会員へ登録した受講者は5名であった。

カリキュラム及び各講座内容は、必修講座3講座、選択講座3講座とし、必修講座3講座と選択講座1講座の合計4講座の受講をもって修了とした。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、動画講座（オンライン配信）の実施や、次年度にまたがった受講を可能とした。動画講座は、受講者以外も視聴することができ、スマートホンでも視聴できる手軽さから視聴回数が60を超える動画講座もみられた。

令和3年度信太山里山講座カリキュラム一覧

カリキュラム		開催時期	内容	動画視聴回数*
区分	講座名			
必修 1	【座学】 基礎講座 信太山丘陵 里山自然公 園について	/現地開催/ なし /動画講座配信/ 令和3年10月より	講師：藤原 宣夫氏（大阪府立大学大学院 教授） 内容：信太山丘陵市有地保全・活用構想の紹介、信太山丘陵里山自然公園の計画の検討経緯及び理念・方針、信太山の里山環境の紹介や保全上の問題等について解説	前半 63 回 後半 38 回
必修 2	【実践】 保全活動の 実施について	/現地開催/ なし /動画講座配信/ 令和3年11月より	講師：田丸 八郎氏（NPO 信太の森FANクラブ） 内容：信太山丘陵の自然環境、里山的環境の保全、信太山丘陵里山自然公園で保護したい植物、除去したい植物等について解説	29 回
必修 3	【実践】 公園づくり の基礎と安 全管理を学 ぶ	/現地開催/ 令和3年12月5日（日） /動画講座配信/ 令和4年1月より	講師：三輪 健一郎氏 NPO いずみの国の自然館クラブ 内容：器具や機械の安全な使い方の解説や、参加者が実際に剪定ハサミや刈払機を使う実践体験	22 回
選択 1	【実践】 自然クラ フト実践学 習	/現地開催/ 令和3年11月7日（日） /動画講座配信/ 令和3年12月より	講師：本藤 千賀子氏（公園協議会） 内容：本公園で除去するクズのツルを使った「ツルかご」の作製	前半 14 回 後半 10 日
選択 2	【実践】 保全活動	/現地開催/ 令和3年1月10日（月・祝） /動画講座配信/ 令和4年2月より	進行：和泉市 内容：ツツジの丘の草刈りと草原の草刈り、保全活動参加者へのインタビュー	14 回
選択 3	【実践】 自然クラ フト実践学 習	/現地開催/ 令和4年2月6日（日） /動画講座配信/ 令和4年3月より	講師：ガールスカウト大阪府第28団 内容：本公園の間伐したタケを使った「竹のミニテーブル」の作製	17 回

※令和4年6月10日時点の視聴回数

動画講座の受講方法

- ・市のホームページに掲載されている動画講座を視聴
- ・動画講座を視聴後、同ページ内に掲載している修了試験を実施
- ・修了試験問題 10 問中 7 問以上正解で、修了（試験は何度でも実施可）



動画講座の YouTube

Q1昭和45～50年ごろの備太山丘陵里山自然公園の場所は、森ではなく、主に草原であった。

○正しい

×正しくない

Q2草地で刈取られた草は、水田の肥料や、家畜の飼料として利用されていた。これらの確保には農地の2倍の面積の草場が必要とされた。

○正しい

×正しくない

Q3里地里山の景観は雑木林（採草地）、田畑（ため池）の2つで構成されている。

○正しい

×正しくない

修了試験問題



現地開催の様子



現地開催の録画を後日配信

⑥自然観察会

信太山丘陵里山自然公園における自然環境の固有性・独自性、保全の必要性について多くの人に周知することを目的とした自然観察会を開催した。

年2回の開催を予定していたが、第1回は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令により中止とした。第2回の参加者は13人であった。参加者にはアンケートを実施した。

令和3年度自然観察会一覧

回	日時	場所	参加者数	講師	内容
第1回 「緑の自然観察会」	令和3年 9月18日(土) 10:00~12:00	信太山丘陵里山自然公園計画地等	—	NPO 信太の森 FAN クラブ協議会員 NPO いずみの国の自然館クラブ協議会員	・西側エリア等のガイドウォーク
※新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令により中止					
第2回 「生きもの観察会」	令和4年 2月27日(日) 10:00~12:00	信太山丘陵里山自然公園計画地等	13人	NPO 信太の森 FAN クラブ協議会員 NPO いずみの国の自然館クラブ協議会員	・西側エリア等でのガイドウォーク ・惣ヶ池湿地での自然観察、ニホンアカガエルの卵塊を触る体験、落ち葉プールのこぎり体験



ガイドウォーク
西側エリアでのゴマダラチョウの幼虫の観察



ガイドウォーク
惣ヶ池湿地でのコモウセンゴケの観察



ニホンアカガエルの卵塊を触る体験



のこぎり体験

第2回自然観察会「生きもの観察会」参加者アンケート結果（部分抜粋）

【実施日】令和4年2月27日（日）

【実施場所】信太山丘陵里山自然公園

【回答者】5名（回答者内訳：20代1名、30代1名、40代2名、50代1名）

【回答結果】

質問2. 良かったところ（複数回答）

回答結果

項目	回答数
講師の解説	4
信太山丘陵の景色	4
ニホンアカガエルの卵の展示	4
のこぎり体験	3
ガイドウォーク	2
園路	1
その他	1

問5. 実施してほしいイベント（複数回答）

回答結果

項目	回答数
自然観察会	4
園内のウォーキングイベント	4
園内の植物を使った体験イベント	3
木や竹の伐採体験	2
その他	1
草刈体験	0

問6. 信太山公園にあったらよいと思うもの（自由記述）

回答結果：

- ・生きものをたくさん見られる場所
- ・遊具、ブランコ、ハンモック、木のぼり
- ・虫にふれあえるようなことがあれば
- ・花などの名前や様子（図鑑みたいな）が分かるようなもの
- ・案内パネル

⑦湿地調査

※パワーポイントにて説明

⑧草原管理手法の実験

大阪府立大学大学院生命環境科学研究科緑地保全学研究グループ（現大阪公立大学）の大学院生李氏より「ヤギの放牧による信太山丘陵ネザサ草原の管理手法に関する実験的研究」が令和4年4月から実施されることとなり、令和3年11月の保全活動ミーティングにて研究内容を紹介していただいた。

ヤギの放牧による信太山丘陵ネザサ草原の管理手法に関する実験的研究

計画書

大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科
緑地保全学研究グループ
M1 李 磊 (リ ライ)

1. 研究背景と目的

和泉市北部に位置する信太山丘陵は、古くから里山として利用され、草原が維持されてきた。しかし、現在では、草原の自然環境を守るための管理が十分に行えなくなっており、ネザサが繁茂し、生物多様性が低下している状況となっている。ネザサの抑制のため、市民団体による刈り取り管理が行われているが、労力が不足している状態であり、今後も管理が不十分な状況が続けば、ネザサは増加し続けるものと予想される。信太山丘陵の生物多様性を保全するためには、ネザサを抑制する省力的な維持管理手法が求められる。

本研究では、信太山丘陵における管理労力の不足を補う手段として、ヤギの放牧に着目し、ネザサの生育を抑制するための適切なヤギの導入方法を検討するため、実験としてヤギを信太山丘陵のネザサ草原において定置放牧する。

2. 研究方法

2.1 実験地の概要

信太山丘陵は和泉市の北部から堺市の南西部に海拔 40~80mのなだらかな丘陵となっており、約 300 ha にわたり広がっている。その大部分を戦前は陸軍、戦後は自衛隊が演習場として管理してきたが、近年にいたり、和泉市により、一部約 16 ha が公園用地として買い上げられた。当該市有地は、信太山丘陵の自然環境を代表する湿地や草原を含み、この部分だけで 34 種の絶滅危惧種ならびに準絶滅危惧種が生息している。

本研究ではこの立地内の東北部に位置する、ネザサ群落を研究対象地(実験地)とする(図 1)。



図 1 信太山丘陵公園予定地および実験地

2.2 放牧面積と放牧頭数

ヤギの放牧実験に際しては、ヤギの頭数と放牧面積をヤギの餌となる草原の生産量を考慮して決定する必要がある。ヤギが必要とする餌の量は体重に応じて変化する。飼育下では乾燥した牧草を与える場合は体重 10kg ごとに 1 日あたり 240g、水分を含んだ草であれば体重 10 kg ごとに 800 g を餌として与える。

本研究では、入手可能な個体として体重 30kg の仔ヤギを想定し、十分な除草効果を得るため、2 頭の 30kg の仔ヤギを放牧することを検討している。30 kg の 2 頭の仔ヤギを導入するとすれば、1 日に 4.8kg の生の草が必要になる。必要な草の量が、信太山の草原では、どの程度の面積から生産されるか検討し、放牧面積、放牧期間を決定し、必要な場合は放牧地の移動を考える必要がある。

2.3 実験施設

2.3.1 ヤギ小屋の設計

ヤギは雨を嫌うので、屋根付きで風雨を避けられる小屋が必要である。また、水槽および鉱塩を小屋付近に置き、水およびミネラルは自由に摂取できるようにする。小屋の製作には長く使える強度のある材料

を使う（コンパネ、単管パイプ、トタン）。ヤギ小屋の壁は、コンパネを貼る。コンパネには、防腐剤やペンキを塗る。屋根を傾け雨水が残らないようにする。小屋の床面はスノコ状で高くして、糞や水分が地面に落ちやすくする。舎飼いでは、ヤギ1頭当たり少なくとも1坪（3.3 m²）が必要とされている。本研究では、仔ヤギ2頭なので6m²以上とする。

2.3.2 ヤギの牧柵の設計

ヤギはジャンプ力が強いので、柵は頑丈かつ高いものにしておく必要がある。電気牧柵、亀甲網、鋼線ネットフェンスやワイヤーメッシュなど4種の牧柵が候補として考えられた。ワイヤーメッシュは亀甲網と比べ、強度があり、電気牧柵や亀甲網と比べ、ヤギの脱柵がない。また、亀甲網や鋼線ネットフェンスと比べ、ワイヤーメッシュは設置が容易で、鋼線ネットフェンスと比べると、地形に合わせて加工が容易で、運搬も比較的容易である。本実験では、移動を前提としているため、ワイヤーメッシュを採用する。柵の高さは、約1.2m～1.5mで、鉄筋の支柱を立て、ステンレスの針金で固定する。

2.3.3 放牧実験地

実験地における計測から求めた地上部生重とネザサ高さの関係を図2に示す。高さ50cmの場合、1m²あたりの生重は約420gとなり、体重30kgの仔ヤギ2頭が1日に必要とする餌量（4800g）は約11m²から得られる。ヤギによる採食とネザサの成長の関係は定かでないため、実験では放牧面積10m×10m程度として考えて、必要に応じローテーションしていく（図3）。

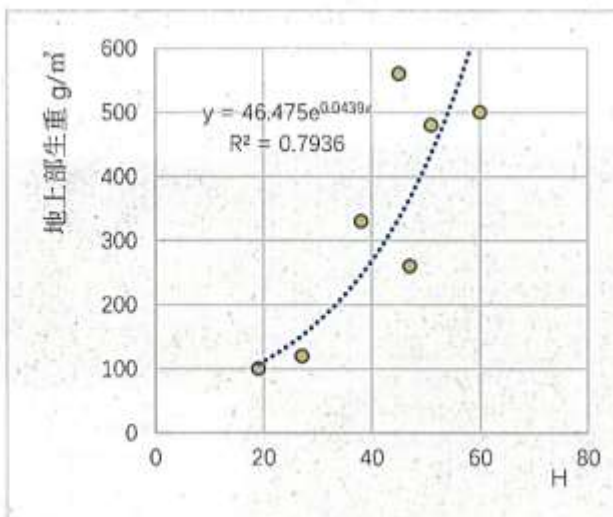


図2 ネザサの高さ (H cm) と地上部生重 (g/m²) の関係

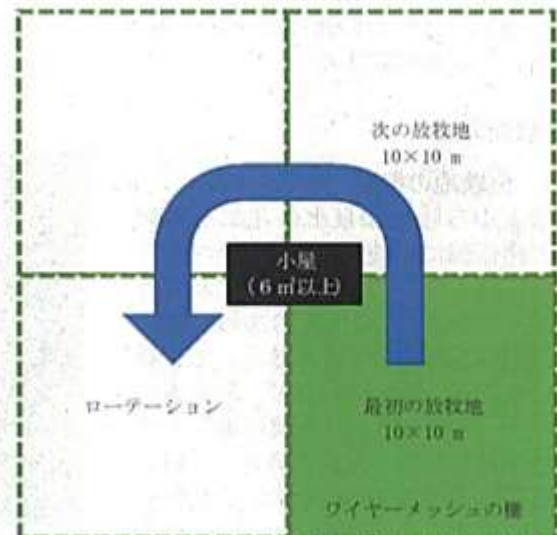


図3 小屋と放牧地の配置イメージ

2.4 実験中の観察項目

植生変化とヤギの体重変化を継続して計測し、実験区の除草効果について評価する。

2.5 実験スケジュール

実験は、2022年4月から始め、8月に終わる4ヶ月間の実験予定である。3月中旬より、実験の準備としてヤギの小屋とヤギの牧柵を作る。

[問い合わせ先]

大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 緑地環境科学専攻

緑地保全研究グループ

M1 李 磊 (リ ライ)

Email : mf202029@edu.osakafu-u.ac.jp

指導教員 教授 藤原宣夫

TEL : 072-254-9443

Email : fujiwara@envi.osakafu-u.ac.jp

⑨暫定的な利活用

●散策路のお披露目

令和3年7月22日から、第1期開園エリア（西側エリア）の散策路が自由に歩けるようになった。開始日にお披露目会を実施し、35人の参加がみられた。お披露目会の参加者には、10代や初めての参加者も見られた。お披露目会の参加者へのアンケートを実施した。



お披露目会の様子

お披露目会参加者アンケート結果（部分抜粋）

【実施日】令和3年7月22日（月・祝）

【実施場所】信太山丘陵里山自然公園

【回答者】26名

【回答結果】

〔年代〕

回答者の年代は60代がもっとも多く11人であった。

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
回答者数	4人	0人	0人	1人	4人	11人	5人	1人

〔来園頻度〕

回答者のうち2人（10代1人、40代1人）が「はじめて」で、それ以外は「数回」が6人、「活動に時々参加」が3人、「活動にいつも参加」が15人であった。

回答	はじめて	数回	活動に時々参加	活動にいつも参加
回答者数	2人	6人	3人	15人

〔園路を歩いて感じた事〕

解説があったので自然を楽しめたという意見の一方で、自分達だけでも楽しめるように説明板や樹名板、草花や虫の写真と名前などを求める回答がみられた。また、園路の状態については、歩きにくさや分かりにくさに関する回答が多くみられた。その他、陰とベンチがある休憩場所が欲しいといった回答もみられた。

〔入口部のサインに掲載したい情報〕

見ごろの動植物やおすすめスポットなど見どころに関する回答が大半であった。

〔誰とどんな利用がしたいか〕

子や孫、家族、友人との散策や自然観察という回答が多くみられた。

⑩公園整備計画

公園全体の施設整備計画の検討及び実施設計を行い、第1期開園区域（西側エリア）の工事発注図書がとりまとめられた。（資料-3「(2) 信太山丘陵里山自然公園の実施設計について」を参照）

⑪その他

仮説トイレを継続して設置。